

平成29年度
第2回 柏市健康福祉審議会
地域健康福祉専門分科会

会 議 資 料

資料編

平成30年2月8日

柏市保健福祉部

目 次

資料編

1 市民アンケートの結果について（速報）・・・・・・・・・・ 1

2 市民ワークショップの結果について・・・・・・・・・・ 13

1 市民アンケートの結果について(速報)

I あなた自身についておたずねします。

		今回		前回	
問1 性別		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	男性	589	43.5	496	40.8
2	女性	744	54.9	709	58.4
	無回答	21	1.6	10	0.8
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問2 年齢					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	10代	18	1.3		
2	20代	83	6.1	83	6.8
3	30代	174	12.9	176	14.5
4	40代	231	17.1	194	16.0
5	50代	174	12.9	173	14.2
6	60代	244	18.0	308	25.3
7	70代	278	20.5	188	15.5
8	80代以上	135	10.0	84	6.9
	無回答	17	1.3	9	0.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問4 居住地区					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	50年以上住んでいる	88	6.5	69	5.7
2	20～49年住んでいる	636	47.0	538	44.3
3	10～19年住んでいる	252	18.6	236	19.4
4	5～9年住んでいる	166	12.3	157	12.9
5	住みはじめて5年に満たない	201	14.8	202	16.6
	無回答	11	0.8	13	1.1
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問5 職業					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	会社員	341	25.2	261	21.5
2	公務員	45	3.3	36	3.0
3	自営	52	3.8	63	5.2
4	専門的職業	44	3.2	56	4.6
5	農林水産業	5	0.4	8	0.7
6	家事専業(主婦・主夫)	304	22.5	266	21.9
7	学生	39	2.9	23	1.9
8	パート、アルバイト、フリーター	171	12.6	154	12.7
9	無職(定年退職後、就労していない人を含む)	307	22.7	286	23.5
10	その他	25	1.8	45	3.7
	無回答	21	1.6	17	1.4
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問6 家族構成					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	ひとり暮らし世帯	147	10.9	95	7.8
2	夫婦のみの世帯	410	30.3	374	30.8
3	親と子の2世代世帯	628	46.4	577	47.5
4	親と子と孫の3世代世帯	88	6.5	94	7.7
5	その他	68	5.0	65	5.3
	無回答	13	1.0	10	0.8
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

Ⅱ 「地域」との関わりについておたずねします。

		今回		前回	
問7 近所付き合い		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	近所の仲の良い人とよく行き来している	136	10.0	175	14.4
2	会えば親しく話をする人がいる	470	34.7	440	36.2
3	あいさつ程度がほとんど	599	44.2	506	41.6
4	近所付き合いはほとんどしていない	135	10.0	74	6.1
	無回答	14	1.0	20	1.6
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

		今回		前回	
問8 今後の近所付き合い(希望)		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	近所の仲の良い人とよく行き来する関係	198	14.6	263	21.6
2	会えば親しく話をする人がいる程度の関係	699	51.6	650	53.5
3	あいさつ程度関係	398	29.4	263	21.6
4	近所付き合いはあまりしたくない	50	3.7	17	1.4
	無回答	9	0.7	22	1.8
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

		今回		前回	
問9 地域への愛着		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	大いにある	343	25.3	326	26.8
2	ある程度ある	785	58.0	704	57.9
3	あまりない	187	13.8	139	11.4
4	全くない	32	2.4	25	2.1
	無回答	7	0.5	21	1.7
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

		今回		前回	
問10 居住意向		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	住み続けたい	675	49.9	579	47.7
2	できるかぎり住み続けたい	372	27.5	358	29.5
3	できれば他の市町村に移りたい	65	4.8	74	6.1
4	わからない	231	17.1	186	15.3
	無回答	11	0.8	18	1.5
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

		今回		前回	
問11 支えられている実感		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	大いにある	274	20.2	196	16.1
2	少しある	545	40.3	584	48.1
3	あまりない	407	30.1	341	28.1
4	全くない	118	8.7	77	6.3
	無回答	10	0.7	17	1.4
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

		今回		前回	
問12 気にかかる人、簡単な支援をしている人の有無		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	いる	306	22.6		
2	いない	787	58.1		
3	わからない	252	18.6		
	無回答	9	0.7		
	N (%ベース)	1354	100		

問13 地域の問題点・不足点		今回 複数回答		前回	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	あいさつをしない人が多い	191	14.1	216	17.8
2	緊急時にどうしたらよいかわからない	353	26.1	356	29.3
3	犯罪の増加	155	11.4	251	20.7
4	交通マナーの乱れ	330	24.4	392	32.3
5	道ばたのごみが増えた	181	13.4	231	19.0
6	地域での子どもの見守りがなされていない	87	6.4	100	8.2
7	子育てに悩む親がいる	28	2.1	64	5.3
8	子どもや高齢者、障がい者に対する虐待を見たり聞いたりする	19	1.4	15	1.2
9	隣近所との交流が少ない	325	24.0	307	25.3
10	世代間の交流が少ない	311	23.0	325	26.7
11	地域の活動が活発でない	182	13.4	192	15.8
12	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	207	15.3	263	21.6
13	障がい者に対する理解が不足している	105	7.8	107	8.8
14	健康に対する意識が低い	80	4.4	68	5.6
15	その他	150	11.1		
	無回答	177	13.1	145	11.9
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問14(1) 声かけ訪問、安否確認		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	97	7.2	58	4.6
2	したいと思う	323	23.9	367	30.2
3	してほしいと思う	272	20.1	222	18.3
4	何とも言えない	458	33.8	337	27.7
	無回答	228	16.8	234	19.3
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問14(2) 話し相手		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	105	7.8	78	6.4
2	したいと思う	299	22.1	344	28.3
3	してほしいと思う	194	14.3	151	12.4
4	何とも言えない	522	38.6	395	32.5
	無回答	244	18.0	247	20.3
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問14(3) ごみ出し、草取り、買い物など		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	87	6.4	95	7.8
2	したいと思う	266	19.6	255	21.0
3	してほしいと思う	220	16.2	167	13.7
4	何とも言えない	533	39.4	439	36.1
	無回答	261	19.3	260	21.4
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問14(4) 生活情報、近隣情報の提供		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	44	3.2	48	4.0
2	したいと思う	247	18.2	220	18.1
3	してほしいと思う	342	25.3	340	28.0
4	何とも言えない	455	33.6	320	26.3
	無回答	278	20.5	288	23.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問14(5) 近くまでの付き添い介助		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	30	2.2	23	1.9
2	したいと思う	200	14.8	213	17.5
3	してほしいと思う	205	15.1	185	15.2
4	何とも言えない	633	46.8	495	40.7
	無回答	292	21.6	300	24.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		今回		前回	
問14(6) 安全・防犯パトロール		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	75	5.5	59	4.9
2	したいと思う	240	17.7	229	18.8
3	してほしいと思う	408	30.1	403	33.2
4	何とも言えない	381	28.1	259	21.3
	無回答	266	19.6	266	21.9
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問14(7) 町会や行政など関係機関への連絡					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	71	5.2	36	3.0
2	したいと思う	245	18.1	135	11.1
3	してほしいと思う	310	22.9	280	23.0
4	何とも言えない	469	34.6	466	38.4
	無回答	270	19.9	300	24.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問14(8) 育児の手助けや子どもの預かり					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	29	2.1	23	1.9
2	したいと思う	155	11.4	155	12.8
3	してほしいと思う	224	16.5	208	17.1
4	何とも言えない	650	48.0	517	42.6
	無回答	305	22.5	312	25.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問14(9) 緊急時に救急車を呼ぶなどの対応					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	している	62	4.6	45	3.7
2	したいと思う	572	42.2	489	40.2
3	してほしいと思う	296	21.9	228	18.8
4	何とも言えない	244	18.0	211	17.4
	無回答	230	17.0	243	20.0
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

Ⅲ 地域での活動についておたずねします。

		嵐回答			
問15 地域自治組織活動の参加					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	日頃から参加している	238	17.6	227	18.7
2	年に1回程度参加している	223	16.5	221	18.2
3	以前は参加していたが今は参加していない	291	21.5	345	28.4
4	自治会等に参加しているが参加したことはない	354	26.1	410	33.7
5	自治会等に参加していない	211	15.6		
	無回答	37	2.7	12	1.0
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		嵐回答			
問16 ボランティア活動参加状況					
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	現在、継続的に取り組んでいる	85	6.3	69	5.7
2	たまに、取り組むことがある	98	7.2	68	5.6
3	取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない	221	16.3	137	11.3
4	取り組んだことはない	725	53.5	776	63.9
5	取り組むことができない	196	14.5	148	12.2
	無回答	29	2.1	17	1.4
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問16-1 活動しない理由		今回 複数回答		前回	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	自治会等に入っていない	117	10.2	120	11.3
2	勤務などの都合で機会がない	362	31.7	316	29.8
3	子育てに忙しい	111	9.7	155	14.6
4	参加方法がわからない	201	17.6	222	20.9
5	時間がない	355	31.1	313	29.5
6	興味がない	163	14.3	135	12.7
7	経済的な負担が大きい	31	2.7	43	4.1
8	家族の理解が得られない	11	1.0	10	0.9
9	体調がすぐれない	182	15.9	138	13.0
10	一緒に活動する仲間がいない	189	16.5	179	16.9
11	わずらわしい	122	10.7	73	6.9
12	その他	98	8.6	98	9.2
	無回答	62	5.4	69	6.5
	N (％ベース)	1142	100	1,061	100.0

問17 今後のボランティア活動参加意向		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	積極的に取り組んでいきたい	35	2.6	29	2.4
2	できるだけ取り組んでいきたい	518	38.3	517	42.6
3	あまり取り組みたくない	364	26.9	326	26.8
4	取り組みたくない	85	6.3	68	5.6
5	取り組むことができない	297	21.9	241	19.8
	無回答	55	4.1	34	2.8
	N (％ベース)	1354	100	1,215	100.0

問18 活動に参加する条件		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	活動情報の提供がある	267	19.7	295	24.3
2	友人等といっしょに参加できる	207	15.3	205	16.9
3	身近なところで活動できる	483	35.7	533	43.9
4	時間の余裕がある	482	35.6		
5	気軽に参加できる	518	38.3	597	49.1
6	活動時間や曜日が自由	451	33.3	495	40.7
7	適切な指導者やリーダーがいる	291	21.5	299	24.6
8	特技や知識が活かせる	140	10.3	160	13.2
9	身体的な負担が少ない	342	25.3	252	20.7
10	経済的な負担が少ない	318	23.5	330	27.2
11	特にない	182	13.4	157	12.9
12	その他	59	4.4	68	5.6
	無回答	78	5.8	59	4.9
	N (％ベース)	1354	100	1,215	100.0

問19 活動情報の入手しやすさ		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	入手しやすい	54	4.0	29	2.4
2	どちらかといえば入手しやすい	232	17.1	127	10.5
3	あまり入手しやすくない	594	43.9	562	46.3
4	入手しやすくない	426	31.5	445	36.6
	無回答	48	3.5	52	4.3
	N (％ベース)	1354	100	1,215	100.0

問20 支え合い・助け合いの関心		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	とても関心がある	126	9.3		
2	少し関心がある	781	56.2		
3	あまり関心がない	391	28.9		
4	全く関心がない	49	3.6		
	無回答	27	2.0		
	N (％ベース)	1354	100		

		今回		前回	
問21 助け合い活動の必要性		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	必要	401	29.6		
2	どちらかといえば必要	745	55.0		
3	あまり必要ではない	173	12.8		
4	必要ではない	18	1.3		
	無回答	17	1.3		
	N (%ベース)	1354	100		

問21-1 必要と思う理由		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	地域に住む一員として必要なことだから	509	44.4		
2	災害などいざという時のために必要だから	758	66.1		
3	将来的に何かあった時に助けてほしいから	237	20.7		
4	お互い様だから	685	59.8		
5	家族や親族に頼れないから	72	6.3		
6	特に理由はない	34	3.0		
7	その他	11	1.0		
	無回答	10	0.9		
	N (%ベース)	1146	100		

問21-2 不要と思う理由		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	他人に干渉されたくないから	72	37.7		
2	地域に関心がないから	17	8.9		
3	どのようにかわればよいかわからないから	39	20.4		
4	家族や親族で対応できるから	61	31.9		
5	行政や民間のサービスで対応できるから	33	17.3		
6	特に理由はない	35	18.3		
7	その他	7	3.7		
	無回答	10	5.2		
	N (%ベース)	191	100		

IV 健康福祉についておたずねします。

問22 健康・福祉の意識の高まり		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	高まっている	114	8.4	29	2.4
2	どちらかといえば高まっている	374	27.6	210	17.3
3	あまり高まっていない	635	46.9	671	55.2
4	高まっていない	174	12.9	259	21.3
	無回答	57	4.2	46	3.8
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問23 健康・福祉情報の入手しやすさ		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	入手しやすい	74	5.5	34	2.8
2	どちらかといえば入手しやすい	301	22.2	209	17.2
3	あまり入手しにくい	653	48.2	541	44.5
4	入手しづらい、わかりづらい	284	21.0	132	10.9
	※前回 入手方法が分からない			275	22.6
	無回答	42	3.1	24	2.0
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

		今回		前回	
問24 情報入手先		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	市役所の窓口や広報紙	499	36.9	606	49.9
2	民生委員・児童委員	62	4.6	75	6.2
3	柏市民健康づくり推進員	38	2.8	28	2.3
4	社会福祉協議会(情報紙など)	92	6.8	134	11.0
5	公民館・近隣センター	114	8.4	184	15.1
6	地域子育て支援拠点・児童センター ※前回は児童センターなし	18	1.3	20	1.6
7	保育園・幼稚園・学校 ※前回は児童センターあり	90	6.6	82	6.7
8	地域包括支援センター	68	5.0	39	3.2
9	居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)やホームヘルパー	64	4.7	48	4.0
10	近所の人・知人・友人	198	14.6	216	17.8
11	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	408	30.1	412	33.9
12	回覧板や町会の掲示版	490	36.2		
13	インターネット・SNS(ツイッターやフェイスブックなど) ※前回はSNSなし	357	26.4	306	25.2
14	その他	50	3.7	70	5.8
	無回答	59	4.4	58	4.8
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問25 身近な相談相手		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	いる	850	62.8	785	64.6
2	いない	483	35.7	413	34.0
	無回答	21	1.6	17	1.4
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問25-1 相談相手		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	家族	672	79.1	608	77.5
2	親せき	145	17.1	139	17.7
3	近所の人	145	17.1	190	24.2
4	友人	339	39.9	316	40.3
5	町会役員	38	4.5	41	5.2
6	民生委員・児童委員	60	7.1	86	11.0
7	柏市民健康づくり推進員	23	2.7	14	1.8
8	職場の上司・同僚	78	9.2	76	9.7
9	その他	58	6.8	24	3.1
	無回答	2	0.2	4	0.5
	N (%ベース)	850	100	785	100.0

問26 福祉サービス利用状況		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	自分自身が現在利用している	66	4.9		
2	同居している家族が現在利用している	73	5.4		
3	自分も家族も現在利用している	6	0.4		
4	過去に自分や家族が利用したことがある	107	7.9		
5	利用したことはない	1088	80.4		
	無回答	14	1.0		
	N (%ベース)	1354	100		

問26-1 「量」の満足度		単回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	とても満足している	47	32.4		
2	まあまあ満足している	75	51.7		
3	あまり満足していない	18	12.4		
4	満足していない	3	2.1		
	無回答	2	1.4		
	N (%ベース)	145	100		

		今回		前回	
問26-2 「質」の満足度		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	とても満足している	48	33.1		
2	まあまあ満足している	76	52.4		
3	あまり満足していない	13	9.0		
4	満足していない	1	0.7		
	無回答	7	4.8		
	N (％ベース)	145	100		

問27 健康の実感		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	健康だと思う	424	31.3	451	37.1
2	どちらかといえば健康だと思う	598	44.2	507	41.7
3	あまり健康でないと思う	231	17.1	175	14.4
4	健康でないと思う	83	6.1	74	6.1
	無回答	18	1.3	8	0.7
	N (％ベース)	1354	100	1215	100.0

問28 健康づくり取り組み状況		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	毎日取り組んでいる	295	21.8	288	23.7
2	週に1回以上取り組んでいる	367	27.1	348	28.6
3	月に1回以上取り組んでいる	129	9.5	113	9.3
4	取り組んでいない	527	38.9	445	36.6
	無回答	36	2.7	21	1.7
	N (％ベース)	1354	100	1215	100.0

問29 楽しく生きている実感		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	感じている	413	30.5	407	33.5
2	どちらかといえば感じている	587	43.4	539	44.4
3	あまり感じていない	264	19.5	195	16.0
4	感じていない	69	5.1	63	5.2
	無回答	21	1.6	11	0.9
	N (％ベース)	1354	100	1215	100.0

問30 良いと思う解決方法		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	301	22.2	258	21.2
2	地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	96	7.1	62	5.1
3	行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい	687	50.7	716	58.9
4	行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい	130	9.6	108	8.9
5	その他	56	4.1	18	1.5
	無回答	84	6.2	53	4.4
	N (％ベース)	1354	100	1215	100.0

問31 健康・福祉の柏市の対応		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	他市に比べて進んでいる	57	4.2	38	3.1
2	親切に感じる	145	10.7	133	10.9
3	熱意を感じる	58	4.3	76	6.3
4	他市に比べて遅れている	191	14.1	259	21.3
5	不親切に感じる	68	5.0	77	6.3
6	事務的に感じる	180	11.8	212	17.4
7	わからない	823	60.8	669	55.1
8	その他	21	1.6	6	0.5
	無回答	45	3.3	35	2.9
	N (％ベース)	1354	100	1215	100.0

問32 重要だと思う取り組み		今回 複数回答		前回	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	195	14.4	225	18.5
2	ボランティア団体などの活動への援助を充実させる	88	6.5	112	9.2
3	高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる	214	15.8	204	16.8
4	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	287	21.2	278	22.9
5	健康や福祉についての情報提供を充実させる	338	25.0	331	27.2
6	住民がお互いに支え合い・助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)	279	20.6	303	24.9
7	健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる	258	19.1	218	17.9
8	在宅医療を充実する	227	16.8	225	18.5
9	介護が必要になっても在宅で暮らせる仕組みづくりをすすめる	362	26.7	361	29.7
10	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスを充実させる	285	21.0	275	22.6
11	支え合いながら子育てができる環境を充実する	183	13.5	147	12.1
12	地域全体で子どもを見守る環境づくりを推進する	197	14.5	202	16.6
13	手当てなど金銭的な援助を充実させる	263	19.4	236	19.4
14	交通の利便性の確保をすすめる	351	25.9	229	18.8
15	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	279	20.6	328	27.0
16	その他	16	1.2	19	1.6
	無回答	58	4.3	40	3.3
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

V 安心安全の取り組みについておたずねします。

問33 生活の安心感		嵐回答	
No.	カテゴリ	件数	%
1	感じている	303	22.4
2	どちらかといえば感じている	742	54.8
3	あまり感じていない	235	17.4
4	感じていない	40	3.0
	無回答	34	2.5
	N (%ベース)	1354	100

問34 支援の必要な人が安心して生活できる地域か		嵐回答	
No.	カテゴリ	件数	%
1	そう思う	92	6.8
2	まあ思う	685	50.6
3	あまり思わない	470	34.7
4	全く思わない	44	3.2
	無回答	63	4.7
	N (%ベース)	1354	100

問35(1) 水や食料を備蓄している		嵐回答	
No.	カテゴリ	件数	%
1	はい	883	65.2
2	いいえ	408	30.1
	無回答	63	4.7
	N (%ベース)	1354	100

問35(2) 避難場所や道順を知っている		嵐回答	
No.	カテゴリ	件数	%
1	はい	970	71.6
2	いいえ	324	23.9
	無回答	60	4.4
	N (%ベース)	1354	100

問35(3) 災害用伝言ダイヤルを知っている		今回		前回	
		崖回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	はい	485	35.8	556	45.8
2	いいえ	767	56.6	602	49.5
	無回答	102	7.5	57	4.7
	N (96パーセント)	1354	100	1215	100.0

問35(4)防災訓練に積極的に参加している		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	はい	240	17.7	191	15.7
2	いいえ	1016	75.0	968	79.7
	無回答	98	7.2	56	4.6
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

問35(5) かしわメール配信サービスに登録している						単回答	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%		
1	はい	228	16.8	275	22.6		
2	いいえ	1023	75.6	880	72.4		
	無回答	103	7.6	60	4.9		
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0		

問35(6) SNSを活用し、災害情報を得るようにしている				嵐回答	
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	はい	366	27.0		
2	いいえ	882	65.1		
	無回答	106	7.8		
	N (96パーセント)	1354	100		

問36 災害時の手助け有無		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	はい	363	26.8	327	26.9
2	いいえ	582	43.0	458	37.7
3	わからない	370	27.3	411	33.8
	無回答	39	2.9	19	1.6
	N (%ベース)	1354	100	1215	100.0

問37 いざという時の支援者		複数回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	家族	1102	81.4		
2	親せき	355	26.2		
3	近所の人	287	21.2		
4	友人	393	29.0		
5	民生委員・児童委員	52	3.8		
6	柏市民健康づくり推進員	11	0.8		
7	柏市防災福祉K-Net支援者	13	1.0		
8	その他	17	1.3		
9	いない	83	6.1		
10	わからない	115	8.5		
	無回答	22	1.6		
	N (%ベース)	1354	100		

問37-1 身内の支援者の居住地		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	同居している	555	48.9		
2	市内	205	18.1		
3	近隣市	109	9.6		
4	その他の市町村(県外含む)	130	11.5		
5	その他	11	1.0		
	無回答	125	11.0		
	N (%ベース)	1135	100		

		今回		前回	
問38 防犯活動取組有無		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	取り組んでいる	203	15.0	160	13.2
2	どちらかといえば取り組んでいる	311	23.0	409	33.7
3	あまり取り組んでいない	234	17.3	477	39.3
4	取り組んでいない	146	10.8	132	10.8
5	わからない	426	31.5		
	無回答	34	2.5	37	3.0
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問39 市内バリアフリー化の進捗実感		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	進んでいる	33	2.4	36	3.0
2	どちらかといえば進んでいる	206	15.2	329	27.1
3	あまり進んでいない	515	38.0	647	53.3
4	進んでいない	185	13.7	158	13.0
5	わからない	384	28.4		
	無回答	31	2.3	45	3.7
	N (%ベース)	1354	100	1,215	100.0

問40(1) みまもりあいプロジェクト		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	よく知っている	15	1.1		
2	ある程度知っている	77	5.7		
3	あまり知らない	302	22.3		
4	まったく知らない	906	66.9		
	無回答	54	4.0		
	N (%ベース)	1354	100		

問40(2) 地域生活支援拠点(あおば・たんぽぽ)		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	よく知っている	21	1.6		
2	ある程度知っている	74	5.5		
3	あまり知らない	263	19.4		
4	まったく知らない	937	69.2		
	無回答	59	4.4		
	N (%ベース)	1354	100		

問40(3) 柏市妊婦子育て相談センター(子育て世代包括支援センター)		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	よく知っている	26	1.9		
2	ある程度知っている	112	8.3		
3	あまり知らない	277	20.5		
4	まったく知らない	877	64.8		
	無回答	62	4.6		
	N (%ベース)	1354	100		

問40(4) 地域子育て支援拠点(はぐはぐひろば沼南・岩柴)		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	よく知っている	37	2.7		
2	ある程度知っている	106	7.8		
3	あまり知らない	275	20.3		
4	まったく知らない	871	64.3		
	無回答	65	4.8		
	N (%ベース)	1354	100		

問40(5) 地域いきいきセンター		嵐回答			
No.	カテゴリ	件数	%	件数	%
1	よく知っている	33	2.4		
2	ある程度知っている	106	7.8		
3	あまり知らない	301	22.2		
4	まったく知らない	857	63.3		
	無回答	57	4.2		
	N (%ベース)	1354	100		

2 市民ワークショップの結果について

※●は第1回・第2回の意見, ○は第3回の意見

課題1 町会や地域組織の衰退

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
町会の脱退と未加入	●町会を脱会する住民が始めている ●町会脱会増えた ●マンションで町会脱会者が出てきた ●町会入会しない ●町会加入しない(メリットがない, 困らない) ●町会に入会しない方が増えている ●町会未加入者が増えてきた ●町会自治会未加入世帯(新住民) ●町会に入らない人への対策 ●町会に無関心が多い ●町会が大きすぎる ●町会の少子化が進んでいる ○情報は過多。プライバシーの問題もある ○町会としての活動が会員から見えない(何の活動をしているのか)		○情報提供手段の検討 ○魅力ある町会づくり ●地域組織は強制的な臭いがあると、住みにくい地域となる。自主性を大事にした支え合い, 自主性を引き出す仕組み必要 ●町内会に小グループのささえ班の誕生を!!(旧5人組制度)のPR動機づけが大切	●「広報かしわ」利用。 ○市の広報紙にも地域の自慢コラムを掲載
組織の役員のなり手不足	●町会等役員の高齢化が進み, 若い方が不足している ●町会役員の高齢化 ●ふる協役員人材不足 ●長期役員担当で話が進めにくい ●組織の役員のなり手が少ない	○活動3割, 楽しみ7割。人に会う楽しみをつくらう	○役員を養成する動き	○市役所支援課拡充が望ましい

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
	●人材育成 ●役員になりたがらない ●次の担い手が見つからない ●各役員が固定されている ●各地区会議等では、いつも同じメンバーが揃う ○役員の固定化。がんばりすぎ ○60歳年金受取無くなったため、ボランティア加入年齢が遅くなった ○故郷役員や町会長が30年以上役を離さない。下の役をすぐ辞めさせる			
町会・ふる協の協力／地域差	●町会・ふる協との運営、地域全体を捉える視点の不足 ●ふるさと協議会に協力的でない町会がある ●ふる協内の自治会・町会の取り組みに差が大きすぎる ●各町会の支え合い活動をふる協全体へ広げるのが難しい ●意見がまとまらない ○ふる協、地区社協は、一般の会員は役割がわからない ○ふるさと役員や地区社協会議が多すぎる		○地域活動の8割は女性の力なり	
地域組織の解散	●子供会が解散するところが出てきた ○子ども会の解散が多い。役員が出来ない ●老人会が解散するところが出てきた ○老人会の書類作成が大変なので連合会に入らない ●地域って何？町会員、一般市民、それぞれがそれぞれの考え方がる。		○防災とかの興味のあるテーマで集まる ○小さな地域の祭りをがんばる ○学校側から子どもたちと元気な高齢者のつながりを持ちたい ○「老人会」ネーミングからイメージ悪い。“まだまだ若い”と思う活動的な高齢者多い	○資料の縮小

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
地域のつながりの希薄化・コミュニケーション不足	●住民(特にマンション)とのコミュニケーションが取りにくい ●マンション住人のコミュニケーションが取れない ●コミュニケーションが取れない。新・旧住民で ●マンションの住人はとなりの交流が強い ●近隣でのコミュニケーションが取りづらい ●近所の方とおつきあいが少なくなってきた ●地域のつながりが薄れている ●隣近所のおつきあいがうすい ●コミュニケーションをとれたがらない住民 ●核家族、転入者は顔見知りいない ●共働きの若者が多く、協力的でない ●地元意識がうすい ○挨拶をしても不審者扱いをされ、近所の付き合いが始まらない ○個人の生活が充実、地元離れ	○なにかあった時は助けてねと言おう ○友人作りを法律化するのではなく、普段から横のつながりをつくる	○五人組。昔には戻れないが精神の継承 ○“おせっかい”の活動を温かく見守る ●昔の隣組のような、気軽に声をかけあえる関係作りが必要では。(マンションなど) ●普段から地域でコミュニケーションをとっておく事が大切	○横のつながりの大切さを広報する(事例) ○動機づけまではいく

課題2 ボランティアなど、支える担い手の不足

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
地域活動に参加しない	●地域活動への協力者が少ない ●地域参加させるには ●高齢でも働いている人が増えて、地域に関われない ●若い人60～70代の参加協力が少ない	●老人大学講座を受けて意識が高くなった。毎月ボランティア	○初めての参加者が出やすいような配慮・コーディネートがほしい	
担い手不足	●地域でのお手伝い(高齢者→有料で)※ボランティア活動 ●支える側の人材が不足 ●ボランティア人不足 ●ボランティアが集まらない ●高齢者でも働いている方が多くボランティアを受けてもらえない ●担い手がいらない ●地域福祉の担い手不足(町会役員・制度ボランティア等も) ●ボランティアに協力する人を探すのに苦労している ●サービスを求める傾向(自主的に動かない) ●情報公開法がコミュニティづくりには邪魔になっている	●活動3割、楽しみ7割 ●助ける人と助けられる人年齢区分を上げて行く努力が必要	●ボランティアでストレスたまるようではだめ。もっと分散していく	
ボランティアの高齢化	●ボランティアの高齢化(新しい人の参加がない) ●支える側の高齢化が進んでいる	○誰もが高齢者になるから、高齢になつてからは遅い。ボランティア活動に若い時から参加してもらう ○高齢者も元気な人は働いてもらう		○高齢者対策を個々にするのではなく、高齢者対策のコミュニティ施設を設け、ここで動ける人は動いて杜共同生活をする場所をつくる ○65歳以上を高齢者としているが、75歳以上に改めた方がよい

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
リーダー不足	●リーダー・担い手の不足 ●役員なり手がいない ●リーダーの負担が大きい		○町会活動の時に参加者の中から担い手になるような人に目をつけておく ○各協議会の加入。調会館で情報の交換を密にしている ○町会・協議会の役員の任期を複数年にするような組織にかえる方法 ○町会役員が1年毎に交代するところは2年に改めるべき	○情報公開の運用を見直す。情報が少ない。情報が入手にくい ○個人情報情報の取り扱い ○マンションの管理の引越しの問題。行政は地域活動をしやすい方向へいっている。改めてほしい
コーディネート不足	●ちよつとした手助けを誰に求めたらよいか。高・障も…上手く使える人、使おうと思っても条件が細かくあり、ハズれてしまう。(不正防止のためと言われる)			○困りごとの相談窓口を専門的に設けてほしい ○高齢者ですか？乳幼児ですか？で情報が分かれるように

課題3 活動や交流の場の不足

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
参加者の固定化	● サロンを開いても、いつも同じ方の参加になる ● 場所を作っても利用者が同じ人になってしまっている ● いろいろな活動を行っている団体はある。(健康、サロン、子供食堂)決まった人しか来なくなってきた。 ● サロン活動で同じメンバーが参加している ● サロンなども来る人の固定化 ● 意識の高い人と低い人がおり、一緒にできない	○ 直接声をかける ○ 一緒に行く ● 参加者が主催者の発想。(役割が必ずある) ○ 参加者でも負担のない役割を担ってもらう	○ 固定化したメンバーの中に新しい人をコーディネートするボランティアを ○ 回数を増やす	
参加してくれない	● サロンに人を集める為にはどうすれば良いのか ● 子育てサロンへの参加者少ない ● 一人暮らしはサロンへの参加が少ない ● 高齢者の会合に誘っても参加してくれない	● サロンなどに一緒に来てくれるなどつなげてくれる人がいれば良い	○ KOCに何か特化した目的のある時間や場をつくる(集まりやすい) ex.囲碁の時間、手芸の時間 ○ 集えるプログラムを考え提供する ex.マージャン	
あるけど…遠い	● サロン場所が遠い ● 子育てサロン近隣センターは月4ペーカーを押していける範囲に限られている。 ● 色々な場所があって、自分で選べると良い。 ● 居場所があっても、本当に必要な方がなかなかたどり着けない ● 本当に来て欲しい人が来ない。連れて来てくれる誰かいないのか？ ● 本当に来てほしい人に届かない ○ 集いの場で何をやっているのか、情報発信			○ ふるさと協議会の行政区域と青少年協の学区の調整をする
あるけど…必要な人に届かない			○ チラシを、協力を得て配る	

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
居場所がない	方法が十分か ○個人情報保護の問題→届けられない ●子供の居場所がない児童に入れられない ●放課後の子供の居場所 ●子供が集まり易い環境づくり ●(庭木の剪定活動)担い手が少ない。子育て団体(キャンパス)集会所がない。 ●高齢者の居場所(サロンは月1。いつでもOKの場所) ○施設を開放している内容を十分PRできていない			○高齢者、障害者等の交流を図るため、横の連絡を行政にお願いしたい
	集まる場がない(ハード面)	●地域の人達が集まれる市の施設が近くにない ●町内に会館のような集まる場所が無い ●活動するための場所(公共施設)がない ●キャンパス地域に近隣センターに類した施設の建設を!!子育て支援の場所の確保 ●キャンパス駅周辺で子育て支援活動中。新しい地域、開発地域なのに無料で使える(公立)コミュニティセンターがない	○空き家、空き店舗を有効活用で ○各町会館を有効活用できるとよい ○広く利用をできる場所をアプローチする ○近隣センターに固定するのではなく、空き家、介護施設、幼稚園等、集まる場所を探す	○空き家、空き店舗を活用できるように、補助金や保険や支援等 ○町の中にふっと座れるベンチが増えたとよい ○公共の場に(デパートでも歩道でも)すぐ座って一服できる場をたくさんつくっておく ○子ども食堂、低所得者の施設、生活保護家庭の子ども等行政側の認識を変える ○パレット柏のような自由に集える場がたくさんあるとよい ●人の集まれる場所の提供(無料) ●公的な場所提供のサービス(子育て世代の集まれる場所)(キャンパス地域に)

課題4 必要な人へ情報が届かない、困っている人を把握できない

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
情報不足	● 何度も重ねて情報は伝えてほしい ● いい制度も知らない人が多い(広報の伝わりが少ない) ● 情報が届かないどこにいったらいいか? 知らない ● 情報が伝わりづらい ● 制度自体を知らない ● 町会、ふる協の情報伝わらない	● 当事者のもっている情報や知恵・工夫を集めて広める、共有する	○ 情報誌をコンビニ等に貼っていただくのもよいのでは ● 情報発信後の利用者からフィードバックを活かして改善する ○ 老人会、サロン等に行き行って、個人個人に渡すことが良いのでは ○ 時間が経たなくても、一歩踏み出してもらえようように、声をかけ続ける	● 情報発信は対象者に応じて多様である必要がある ● 情報発信(受け取る側の状況に配慮した届け方が大切)
必要な人へ伝わっていない	● 情報発信はしているが必要な人に届いていないような感じ ● 対象者への周知 ● 手を差し伸べたい人に思いが伝わらない ● サービスや制度の説明を常に発信していかない ● 必要となときに気付かない人がいる ○ 情報が必要な人に届いていない			
情報の選択が難しい	● 情報の多様化によって収得の格差が出ている ● 介護... 情報が多すぎて選択が難しい ● 子育て情報が多すぎて迷ってしまう ● インターネットの普及で欲しい情報が簡単に手に入る。(集う必要がない)	● つどいなどで自分合った情報を見つけてみる		○ 相談に対して早急な対応ができる窓口を1つにする。そこからつなぐ
支援を必要とする人がわからない	● 困っている人の情報が見つからない ● 個人情報守秘が壁になって支援が必要な人に必要な情報が届けられない。また、困っている人をキャッチ出来ない ● 情報なし(伝えられない)出来ない ● 困っていることを拾い出せないコミュニケーションも取りづらい ● 支援を必要としている人がわからない(助けてと		○ 高齢者に関しては民生委員さんをお願いする	○ 総合相談窓口の設置

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
	いえているのか) ●要支援者がどこにいるのかわかりにくい ●プライバシー保護で前に進めない ●認知症の方が各家庭内にいるか情報が外に出ない ●市内の聴覚障害者紹介して欲しい ○障害者の情報が入ってこない ○困難な人の情報が入ってこない			
個人情報への警戒	●個人情報に強い警戒心 ●高齢者 個人情報の関係で対応が難しい ●個人情報保護法上あまり人に伝えられない? ●個人情報の問題があり意思疎通が難しい ●共通課題について共有せず情報の個有化をしよう			○個人情報の扱い方、利用方法を法に照らしてどこまで利用できるかをきちんと説明を受ける機会を作って欲しい
情報保障	●施設に障害の設備がないので不便 ●病院・警察・消防・市役所等 手話講習会が建つこと ●資料にFAX 番号がないと困る		●固いこと言わずに…。(寛容性)	○聴覚障害者へ情報提供のため、行政がFAXを無料を設置する ●電話を取れない人FAXが必要

課題5 相談できない、拒否されてしまう

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
相談にのりたくても心をひらいてもらえない	●SOSを出せる人間関係コミュニケーション不足 ●気持ちでつながれない(プライドやメンツ) ●コミュニケーションのとおり方が難しい ●高齢者を訪問してもなかなか本音を言ってくれないため、コミュニケーションが取りづらい ●心を開いてくれない ●困りごと、本人がサービスを受けることを拒む(高齢者)。高齢になると新しい人を受け入れることが難しい。 ●自分の状況を話す人間関係が希薄	○向こう三軒両隣をもっと活用	○民生委員の訪問活動を通して信頼関係をつくっていく ●コミュニケーションを良くすること ●普段からのあいさつ、同じ町会の人のふれあいが一番ベスト。小さな地域のコミュニケーション	
何に困っているかわからない人もいる	●自分が何で困っているのか理解すら出来ない ●高齢者が増えてきた。 ●何が困っているかわからない⇒情報がつかめない ○どこに相談すればいいかわからない。だから困る		○地域のサロン等の交流の場に誘い出す ○民生委員と地域の方と協力して、心配なお宅の変化を発見・見守り体制をつくる	
相談⇒支援を拒む	●困っている人が支援を受けることを拒む。支援を受けやすい人と、人の助けを受けることを考えられない人がいる。 ●行政の支援を受けるのを拒否する方がいる ●無料でやってもらうことに慣れていない方へはどうしたらよいか？【プライドがある……ご迷惑を掛けたくないなど】 ●助け合い、支える側～多い。支えられる側～少ない		○民生委員が高齢者に情報誌をもって安否確認をする ○繰り返し情報を発信する ○老人会の活用(例えば1人が10人単位の見守り) ○「まわり」で見守る ●“あなたのためにこうしている”というメッセージは重すぎて受け取りにくい(お互いさまを納得しやすい平らな関係が見えやすい助け合い) ●制度の助けか、地域の助けかの二者	●障害があっても支援を拒む人への対応(専門職の対応) ●ケアマネさん・相談員さんの広い視野 ●サービスを受けることが恥ではないという社会の風潮が必要

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
			損一にならないサービス側の連携が必要。個人に応じたコーディネートができるには？	
自由に相談できる所が必要	●自由に相談出来る雰囲気づくり【日本人は家庭のことを話すと笑われるという意識が強い】		○各町会で相談窓口をつくってもらう （窓口に民生委員がいる） ○行政につなげる	

課題6 地域の生活課題の多様化

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
一人暮らしの高齢者の増	●一人暮らしが増えた ●高齢者一人暮らしが多い(女性) ○男性も増えている。男性はひきこもっている。誘われな - いと来ない。どうすれば参加するか。 ○男性高齢者はサロンなどに誘っても来ない。 ●一人暮らし対策 ●老世帯の増加 ●一人暮らしの人が多くなってきた ●一人暮らしの高齢者多い ●独居者多い ●一人で生活している老人が増えた ●孤立。一人暮らしの方が多い。 ●高齢化進むと一人暮らしが増える。	○近所付き合い	○若年層へボランティアに誘う(地域の活動) ○スタッフに男性を多くする。 ○男性の集いやすい場をつくる(麻雀、囲碁等の趣味) ○三軒単位のゴミ出しを家の前に出してもらって、担当で行う。 ○有料でのボランティア活動 ●隣組をつくってはどうか→携帯番号を交換している(新聞がとられていない。インターホン応答なし) ●班で連絡を取る、近所のおつきあい ●支え合い活動・ゴミ出し・買物・電気交換(ブライバシー)	○サロンの運営費の助成
見守り、生活支援が必要	●見守りが必要 ●一人暮らしの人に声を掛けても返事がもらえない ●独居者の一人住まい ●トイレに一人で行けない人ができるだけ動かなくて生活する為に、窓を閉めたままエアコンつけたままで、生死の確認に入れない。地域でこのように生きるより施設で誰か人の助け合いの方が良いのではないかと ●ゴミ出しの問題 ●ごみ出し 近くの方に頼めない ○民生委員のやる範囲が減ってきた。それはおかしいのでは？			
貧困家庭増、情報不足	●貧困家庭の増加 ●やはり(貧困、障害、子供 etc)たてわり ●貧困家庭に手を差し伸べたいが情報がない		○地域の様々な人・団体を巻き込んで課題に対する話し合いをする。 ○ふれあい給食(15年)年6回。学校	○近隣センターの開放(子どもの食堂や勉強)

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
	● 貧困家庭があると思うが目立たない ● ライフラインをとおして困窮者につながるネットワークが弱い		の給食の時間に合わせて学校へ行く	会など) ○ 近隣センター長の頭が固い。地域のことを聞いてほしい。
子ども食堂参加者固定化	● 子どもの貧困 ● 子ども食堂イメージ貧困 ● 子ども食堂 孤食の人にも開いて(ほしい、いない) ● 子ども食堂来て欲しい方が来ない ● 子ども食堂来る人の固定化 ○ 放課後行き場がなくて近隣センター等にたむろしている子どもが多い			
障害への理解不足	● 障害者を普通の子として扱ってくれる地域 ● 教育満足できない(家庭、学校) ● 障害児、障害者を持つ人に対して理解できない ● 若い保護者の子育て観。専門機関(保育園等)で育ててもらいたい。知的障害においても家庭よりもプロ(福祉サービス等)に育ててもらいたいという声がよく聞かれる ● 親子・家族関係の希薄さがプロを求める要求になっている ● 相互理解。個人が精一杯で接点・興味ない。 ● バリアフリーについて市民に勉強して欲しい。 ● 市民に手話について理解欲しいが…少ない		○ 障害をいえる関係性づくり ○ 障害のみではなく横のつながりづくり	○ 横のつながりづくりの支援(橋渡し)

課題7-1 健康づくり, 生きがいづくりの場や機会

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
参加しない	● 出不精で参加しない		○ 興味のある内容を考える(出ない人が次も来ようと思えるもの) ○ 年間計画を立てて, 回覧する ○ お知らせを何回も出す ○ 町会の回覧に入れてもらう ○ 各家にチラシを入れる	
生きがいづくりの場	● 町会のサロンの活用(町会の施設の利用) ● 高齢者の毎日元気に過ごしてもらう ● サロンの充実(安いお金で利用) ○ コミュニティ施設が少ない(自力で参加できる距離)		○ 運営スタッフの確保 ○ 集会所の活用 ○ おじさんのいられる場を家の外につくる	○ 運営スタッフ確保に行政の協力してもらう ○ 集会所の開放(気軽に) ○ フレイル体操をもっと普及する ○ 集まる場所に選択肢が多数ある(3つ以上, 単一でない) ○ 囲碁の部屋, 将棋の部屋など合っても可 ○ 人と会話の出来るちよっとした広場がいいね ○ もっと公園を(小さくても可)
新しい参加者を増やす	○ ラジオ体操は参加しづらい。ロコモ体操など ○ 地域のサークルが何をしているかわからない		○ 案内人(声をかける人), 交替しながら ○ 立て看板で「無料, ご自由に誰でも参加できます」 ○ 場所を限定せず多くする ○ 子どもも誘う(教育を含む)	

課題7-2 防災・防犯対策など安心・安全面の不安

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
K-Netが生かされていない	●マンションではK-Netの支援者が不足している ●K-Netの市民周知度が低い ●K-Net 活用出来ない ○手続きが複雑すぎる ○個人情報保護が壁		○みんなが集う機会が多いほど良い ○ふれあいサロンと老人会は共存すべきだ ○老人クラブの組織力を活用する ○回覧板等伝言システムの活用	○手続きの抜本的見直しが必要 ○救済まで支援者の義務でないことを徹底すべき ○K-Net の運営ルールの周知徹底が必要
防災訓練に集まらない	●防災訓練をしても人が集まらない	○炊き出し訓練をやれば集まる		
安否確認の必要性	●隣近所で安否確認出来る関係をつくる ●ガス・電気などの公共料金の滞納情報を生かして見守りが出来ないが			
空き家が増加	●空き家問題(所有者はいる) ●空き家が増えている ●空き家が増えてきた ●空き家が多くなった ●町会内の空き家が増えている ●空き家が多くなった(防犯問題) ●空き家問題 ●空き家の増加 ●空き家が多い		○空き家を居場所づくりに生かす ○空き家の活用を積極的に	○更地にすると税金が大幅にアップするのでこれを解決すべきだ

課題7-3 移動が困難

	困りごと	解決アイデア		
		自助	互助・共助	公助
外出が困難	●外へなかなか出ることが出来ない。 ●歩行困難者が増加 ○道路等のバリアフリー化が遅れている			○道路等のバリアフリー化の推進
交通の便が悪い	●交通の便 ●交通の便 買い物等 ●高齢化により免許返納等で足の確保が出来ない ●交通不便		○出前ボランティアでこちらから出向く(サロンの話し相手)	○ミニバスの運行
買い物などに行けない	●買い物や生活に苦勞している老人が増えている		○買い物支援ボランティア(窓口) ○移動販売に来てもらう(ミニコンビニ車) ○スーパー・コンビニとタイアップ。買物品の届け	○行政と地域ボランティアの協力